

会議要録

会 議 名	第2回港区中学校海外修学旅行事業業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年12月15日（金曜日）午後5時00分から7時00分まで
開 催 場 所	港区立教育センター 研修室3
委 員 員	<p>[出席者] 増淵達夫、油布佐和子、藤井千春、森山賢一、平部正樹、 長谷川浩義、鈴木健</p> <p>[欠席者] なし</p>
事 務 局	<p>吉野達雄（学校教育部長）、篠崎玲子（教育指導担当課長）、 下橋良平（統括指導主事）、 澤木俊宏、堀内遥、小林あかり（教育支援係）</p> <p>[オブザーバー] 佐々木希久子（港南中学校長）</p>
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 一次審査結果について 3 二次審査について 4 閉会
配 付 資 料	<p>[配付資料]</p> <p>資料1 港区中学校海外修学旅行事業業務委託事業候補者選考 一次審査集計結果</p> <p>資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案）</p> <p>資料3 港区中学校海外修学旅行事業業務委託プロポーザル二 次審査の実施に関する留意事項（案）</p> <p>資料4 二次審査採点基準表</p> <p>資料5 第1回港区中学校海外修学旅行事業業務委託事業候補 者選考委員会会議要録（案）</p> <p>参考資料1 港区中学校海外修学旅行事業業務委託事業候補者募集 要項（各様式を含む。）</p> <p>参考資料2 港区中学校海外修学旅行事業業務委託事業候補者選考 基準</p> <p>参考資料3 仕様書</p>

会議の結果及び主要な発言

事務局	<p>1 開会</p> <p>2 一次審査結果について (資料1の説明及び以下の事項を提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の旅行会社に談合の疑いがあるとの報道が11月にあり、仮に談合の疑いで起訴された場合には、その事業者は港区においても参加資格が停止となり、契約することができなくなる。そこで、一次審査通過事業者の数については、第1回選考委員会において、「3者程度」として決定したが、契約ができないといった事態を可能な限り回避できるよう、基準点である「60%」以上の得点をした事業者を一次審査通過事業者とすること、また、二次審査実施後に、一次審査及び二次審査のそれぞれにおいて、「60%」以上の得点をした事業者について、得点の高い順に事業者を順位付け、上位の事業者が参加資格停止となった場合には、その直近下位の事業者を事業候補者として取り扱うことを提案。
D委員	<p>【一次審査の講評】</p> <p>それぞれの項目ごとに、各事業者がどのような提案をしているか、比較して評価をした。スケジュールにおいて、ゆとりがある方がよいのか、内容が詰まっている方がよいのか、どちらがよいか判断に悩んだ。内容が詰まっているスケジュールだと、生徒が疲れてしまうのではないかとも思った。事業者ごとに提案内容に特徴が出ており、経験のある事業者は相応の内容が提示できていると思った。</p>
C委員	<p>経験のないと思われる事業者も2、3者あったが、それ以外の事業者は甲乙付けがたく感じた。生徒がどのような活動をするかポイントをおさえて具体的に明示できている。また、学校が求める安全対策等についてもポイントをおさえていると感じた。</p>
G委員	<p>項目ごとに、各事業者の提案を比較して評価をした。学校教育としての修学旅行を、どのような位置付けとして企画提案書に落とし込んでいるかで違いが見られた。時間を有効に使うという観点から全体的にメニューが多いように感じたが、内容については細部まで示されており、一部の事業者を除いてはよく理解できるものであった。</p>
F委員	<p>項目ごとに、各事業者の提案を比較して評価をした。実施可能性というところで、綿密にプランニングしている事業者の得点を高くした。綿密ではないが、魅力的なプランを提示している事業者もあったので、その辺りは今後の評価のポイントになってくると思う。</p>
E委員	<p>初めての取組であるので、安全・安定的に実施できるかを踏まえて、項目ごとに、各事業者の提案を比較して評価をした。綿密さ、事業者としての経験値、ポイントを押さえているかなどといった点で経験がある事業者とそうでない事業者で差が出た。</p>
A委員	<p>プログラムが具体的であるか、そうでないかで差が出た。少し窮屈ではな</p>

	<p>いかとの意見もあったが、企画力を判断するに当たっては、具体的である方がよいと思う。本番に向けては事務局と詰めていけばよく、まずはしっかりとした内容の企画が提案されているかどうか重要である。その中で、具体性に加え、学びの目的が明確になっているか、より効果を高めるための工夫がみられるかどうかを重視しながら採点をした。さらに、相談や問合せ対応、安全対策については、丁寧で具体的な対応を提案している事業者を高く評価した。</p>
B委員	<p>項目ごとに、各事業者の提案を比較して評価をした。中学生を海外に連れて行ったことがあるかという経験と提案の中身の細かさは関係があるように感じた。きめ細かく記載できている事業者は、様々な想定ができていると思い、採点を高くした。また、添乗員等の性別、現地学生の研修や食事の提供などというところまで配慮して提案できているかどうか踏まえて採点をした。</p>
委員長	<p>【意見交換】 各委員からの講評を踏まえ、意見交換をしたい。特に、5段階評価において、委員間で3以上の差がある項目について確認したい。</p> <p>< A事業者について ></p> <p>2 企画提案の評価 (2) 海外修学旅行事業に対する考え方について → B委員：2 A委員：5</p>
B委員	<p>前回の選考委員会で語学が目的なのか、多文化が目的なのかと議論したこともあり、多文化理解をもう少し前面に出す必要があるのではないかと感じたため、少し厳しい点数とした。</p>
A委員	<p>B事業者の評価を一番高くしており、B事業者は基本理念がとてもよくできていたが、A事業者はB事業者とかなり異なる切り口で基本理念を述べている。その中で、港区が行先をシンガポールとした理由、港区が進める国際理解教育との整合性が図られており、どのように貢献するかというのが明確に述べられているように思ったので高く評価した。</p> <p>2 企画提案の評価 (4) 海外修学旅行の内容の充実について イ セントーサ島内の見学（3日目） → A委員：5 G委員：2</p>
A委員	<p>書き出しの部分や振り返りワークショップの部分で、学びの目的が非常に明確になっており、内容も具体的に示されている。きちんと考えられたスケジュールとなっているという点で高く評価をした。</p>
G委員	<p>SDGsの体験活動というのはよく分かるが、いろいろな内容が混ざっており、どのように選択していくのかなどの点において、もう少しバランスが図られている必要があるのではないかと考えたので、低く評価した。また、振り返りワークショップについて、もう少し検討が必要ではないかということで点数を減じた。</p>

D委員	<p>2 企画提案の評価 (5) 実地踏査について → D委員：2 E委員：5</p> <p>実地踏査ではなく、観光みたいになっているので点数を低くした。他の事業者はホテルの状況や安全面などの記述があったが、A事業者は実際に訪れる場所とスケジュールだけの記載になっているので、あまり点数が上がらなかった。</p>
E委員	<p>行程については中庸であるが、概要の部分で添乗員等の配置が詳細である点に着目した。海外修学旅行を安定的に実施するには、実地踏査のスタッフについても、現況を把握し、分析できる体制を整えていることが重要であると思うので、その点について記載した点を評価した。</p> <p><C事業者について></p> <p>2 企画提案の評価 (1) 業務従事予定者の配置計画及びスケジュールについて → A委員：1 F委員：4</p>
A委員	<p>企画調整の担当が3人体制となっており、どういうことなのかと思った。また、スケジュールが調整でき次第、事前学習を実施といったような記載となっており、内容の具体性が欠けている。また、この事業者は従業員が10人しかいないので、この事業を請け負えるのか疑問に思ったため厳しめに採点した。</p>
F委員	<p>比較的無理のない行程になっているのではと思ったので点数を付けたが、確かに人員の配置等を踏まえると、検討する余地があると思った。</p> <p><D事業者について></p> <p>2 企画提案の評価 (4) 海外修学旅行の内容の充実について ア 現地学生との交流（2日目） → B委員：1 C委員：4</p>
B委員	<p>現地学生について、集まらなければ他からとなっているが、その学生に対して、どのように事前指導するかの記載が見当たらなかったため、1点とした。</p>
C委員	<p>内容について、かなり現地で深い体験ができるのではないかと判断した。また、シンガポール国立大学の学生が担当するのはレベルとしては高い。欠員の場合にどうするかということも記載しているので4点とした。</p> <p>2 企画提案の評価 (4) 海外修学旅行の内容の充実について オ 効果検証 → B委員：1 D委員：4</p>

B委員	螺旋状の絵があるが、これは学習指導要領の総合的な学習の時間の解説で出てくる絵であり、どうなのかと思った。また、効果検証の方法がプレゼンテーションだけなのも気になった。他の事業者と比べると、工夫が見られないので点数を低くした。
D委員	効果検証におけるアンケートはあまり意味がないと考えているので、効果検証方法にプレゼンテーションを選んでいるのがよいのではないかと思った。自分たちが学んだことを事後にまとめて発表すること、また、コンテスト形式になっていることも面白い発想だと思い、高く評価した。 2 企画提案の評価 (5) 実地踏査について → B委員：1 F委員：4
B委員	行程の記載はあるが、修学旅行の順序と異なっている。また、リパークルーズをやるとすると危険を伴うもので、そこを割愛してよいものかと思い、点数を低くした。
F委員	プランとしては効率的に組まれているように感じたので、他の事業者と比べても遜色なく、評価を高くした。 2 企画提案の評価 (6) 加入する保険について → B委員：1 C委員：4
B委員	他から転用した資料をそのまま貼付しているのが気になった。また、緊急歯科治療費用が修学旅行で必要なのかが気になり、その点について考えて記載しているのかと思った。
C委員	他の事業者と遜色ないように感じ、最低限は満たしているのではないかと思い、4点とした。 < E事業者について > 2 企画提案の評価 (4) 海外修学旅行の内容の充実について エ 事前事後学習の内容 → B委員：5 D委員：5 G委員：2
B委員	渡航準備セミナーに加え、リフレクションツールの利用やアンケートなどもあり、非常に多様で緻密に計画されており、安心できるということで高く評価した。
D委員	渡航の準備の他に、SDGsや異文化の理解等も入れている点が評価できる。事後学習についても、リフレクションを入れているので評価できると感じた。
G委員	内容は充実しているとは思ったが、実際に3か月前からこのように進めら

	<p>れるのか疑問に思った。また、リフレクションの部分は抽象的ではないか と思い、低く採点した。</p> <p>2 企画提案の評価 (8) 相談・問合せ対応について → B委員：5 A委員：2 F委員：5 E委員：5</p>
B委員	<p>保護者対応、緊急対応、教育委員会への対応のそれぞれについて、どのよ うに対応するのか分かりやすく記載があり、十分に想定できていると思っ たので高く採点した。</p>
A委員	<p>保護者・引率者向けの窓口が土日を除く平日の9時半から17時半までと なっている点が気になったが、B委員のおっしゃるとおり、他の部分はき め細かく記載があるので、後ほど修正したい。</p>
F委員	<p>保護者、教育委員会の対応を分けて明確に記載してあるところを高く評価 した。</p>
E委員	<p>細かな対応の記載があり、24時間体制でサポートしてくれるというところ を評価した。</p> <p><F事業者について></p> <p>2 企画提案の評価 (6) 加入する保険について → D委員：5 C委員：1</p>
D委員	<p>保険に関しては、複数の保険に入っているかをチェックした。F事業者は 3種類の保険を提案するようになっており、十分なのではないかと思い、高い 得点にした。</p>
C委員	<p>他の事業者と比べ、具体的な金額の記載がなかったので点数を低くした。</p> <p><G事業者について></p> <p>2 企画提案の評価 (4) 海外修学旅行の内容の充実について オ 効果検証 → B委員：1 D委員：4 C委員：1</p>
B委員	<p>出発前の学習ノートの配付・記入のみしか記載がなく、事業者が何をす るのか分からなかったので点数を低くした。</p>
D委員	<p>アンケート調査等の簡単に出るものは評価を低くしているが、修学旅行に 対して自分で目標を設定するノートを作成し、課題等をどれだけ達成でき たかを記載することは教育的にも意味があると思って点数を高くした。</p>
C委員	<p>自分についての気付きがどうだったのかというところを記載している事</p>

	<p>業者を評価しているが、G事業者はその点が具体的に見えてこないのに、点数を低くした。</p> <p>(意見交換を踏まえて各委員が採点を見直し、事務局が再集計)</p> <p>【一次審査通過事業者の決定】 (再集計結果の説明)</p>
事務局	
委員長	<p>一次審査の評価点数については、この点数で決定してよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、この点数のとおり決定する。順位については、1位はB事業者で1238点、2位はE事業者で1125点、3位はA事業者で1016点、4位はF事業者で863点、5位はD事業者で783点、6位はC事業者で696点、7位はG事業者で532点となった。一次審査通過事業者については、事務局から「60%」以上の得点をした事業者とすることの提案があったが、「60%」以上の得点をした事業者は、B事業者、E事業者、A事業者、F事業者の4者となる。事務局の提案の可否も含め、どの事業者まで一次審査通過事業者とするか、意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員長	<p>特になければ、一次審査通過事業者は、A事業者、B事業者、E事業者、F事業者の4者に決定するというところでよいか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それではそのとおりに決定する。</p> <p>→ 一次審査通過者はA事業者、B事業者、E事業者、F事業者に決定</p>
事務局	<p>3 二次審査について (資料2から資料4までの説明)</p> <p>【資料2及び資料3について】</p>
A委員	<p>二次審査については、参加表明書に記載された担当者と業務責任者の2名でプレゼンテーションを行うのか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p> <p>(その他意見なし)</p> <p>→ 資料2、資料3について了承 (資料4については、第1回選考委員会です済)</p>
委員長	<p>【共通質問事項について】 前回の選考委員会での議論も踏まえ、各事業者への共通質問事項を設けるか確認したい。</p>

A委員	可能であればシンプルな質問でよいので、何か1つ、2つ程度は共通の質問をしてリアクションを見たい。質疑応答の時間を30分とっているので、共通の質問をしても各委員が質問できる時間は十分にあると思う。
B委員	前回議論したように、シンガポールに行くのは語学の点に限らず、多文化理解などの点を理解しているか、修学旅行でシンガポールに連れて行く意義というのを各事業者がどのように考えているのかについて聞き、どのように答えるかをみるとよいと思う。前回、各事業者の売りや企画の中で一番伝えたいことを聞くと本音が返ってくるという発言があったことから、核心的な部分を聞く必要があると思うがいかがか。
C委員	公費を使って実施する意義についてどう考えているか、教育委員会の意図と一致しているのかというのがポイントになるので、それを聞くことはよいと思う。
B委員	港区は様々な教育活動を行っており、修学旅行の中でも体験を通して学ばせたい、その際に英語の活用を含めて取り組み、中学校を卒業してからの学習等につなげていきたいという思いがあるため、教育的な観点をどこまで持って企画してくれるのかというのは大切かと思う。冒頭で私がこの質問をして、その上で各委員が質問することとしたい。
D委員	それを踏まえて、今回の提案における日程の中で、ポイントはどこかということを知りたい。
A委員	<p>内容によってはもう少し掘り下げた質問があってもよいと思う。核心的な質問に関しては、業務責任者にぜひ答えてもらいたい。</p> <p>→ 修学旅行でシンガポールに行くことの教育的意義をどのように考えているかを共通質問事項とし、冒頭にB委員から質問することを決定</p>
	4 閉会